# 令和元年度事業報告書

### 今年度事業推進上の基本方針

「瀬戸内海環境保全協会」の設立趣意を踏まえつつ、次の方針のもと事業を展開する。 「瀬戸内海の環境保全・創造」に関する活動拠点、瀬戸内海の各種対策のコーディネータとして、次の事項の中心的な役割を目指して事業を進めることとする。

- (1)瀬戸内海の環境活動、環境学習に関する指導者のネットワーク構築、教材等作成 提供
- (2)瀬戸内海の栄養塩類や生物多様性等新たな課題に対する調査研究
- (3)瀬戸内海に関する各種情報、データの収集・発信

また、事業実施にあたっては、瀬戸内海に関係する府県市、漁業団体、環境衛生団体の緊密な連携のもと、新たな水環境の考え方の一つである「(森・川・海の)流域管理」や「里海」をキーワードとしながら、環境省や瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海研究会議との連携をさらに密にし、豊かで美しい瀬戸内海を後世に継承していくための事業展開を図っていく。

## I 事業

- 1 瀬戸内海の環境保全・創造に関する普及啓発、活動支援及び情報収集・提供
  - (1) 普及啓発・活動支援
  - ①瀬戸内海環境保全月間事業の展開(昭和52年度~)

瀬戸内海の環境保全意識の高揚を図るため、次の事業を実施した。

ア 令和元年度瀬戸内海環境保全月間(期間:令和元年6月1日~30日)ポスター の配布・掲示

平成30年度に公募し、選定された最優秀作品を令和元年度瀬戸内海環境保全月間ポスターとして作成、関係機関に配布し、瀬戸内海環境保全月間に広く掲示した。なお、最優秀作品、優秀作品については定時総会で表彰した。(令和元年5月24日)

·配布枚数:5,000枚

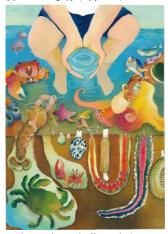
[令和元年度瀬戸内海環境保全月間ポスター最優秀作品・優秀作品]



最優秀賞 浅井 美空(高校生) (香川県高松市)



優秀賞 小林 慧紋(小学生) (愛媛県伊予郡松前町)



優秀賞 齊藤 真紀 (大阪府箕面市)

# イ 瀬戸内海環境保全月間ポスター原画の展示 (平成22年度~)

定時総会、瀬戸内海環境保全知事・市長会議総会、賛助会員研修(座学研修会)に合わせて、協会が保有している瀬戸内海環境保全月間ポスター入選作品の原画を展示し、環境保全の啓発を図った。

# (定時総会)

• 日時: 令和元年5月24日

・場所:ラッセホール



定時総会時の原画展示と最優秀賞、優秀賞 受賞者(左より中野哲哉(環境省閉鎖性海 域対策室長)、金澤和夫(兵庫県副知事)、 浅井美空(最優秀賞)、小林慧紋(優秀賞)、 齊藤真紀(優秀賞)

# (賛助会員等研修会)

・日時:令和元年12月10日

・場所:三宮研修センター(神戸市)



賛助会員等研修会に合わせて開催した 原画展示

# ウ 令和元年度瀬戸内海環境保全月間の実施

環境省が毎年6月に実施する「環境月間」にあわせ、国、関係府県市、関係各種団体、関係企業などとの連携・協力のもとに、瀬戸内海の保全に関する広域的なキャンペーン活動を展開した。

期間:令和元年6月1日(土)から30日(日)までの1ケ月間

主唱:公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会

実施主体:関係府県市、関係各種団体、関係企業等

実施内容:

「瀬戸内海環境保全月間」の広報

## (瀬戸内海環境保全知事・市長会議総会)

· 日時: 令和元年7月31日

場所:リーカ゛ロイヤルホテル小倉(北九州市)



瀬戸内海環境保全知事・市長会議総会に合わせて開催した原画展示

- ・「瀬戸内海環境保全月間」ポスターの配布・掲出
- ・普及啓発用リーフレット・グッズ等の配布
- ・パネル・絵画・写真の展示
- ・環境保全に関する講演会、研修会等の開催、協力
- ・水辺、浜辺での自然・生物観察等「自然観察会」の開催、協力
- ・河川、海岸等のクリーンアップ、植樹等の地域美化活動の実施
- ・河川、海域での水質・生物調査、環境パトロールの実施

# エ 令和2年度瀬戸内海環境保全月間ポスター募集・選定(平成11年度~)

令和2年度瀬戸内海環境保全月間に向け、ポスターの原画を募集し、入選作品を選定した。

- 作品募集期間:令和元年7月1日(月)~11月29日(金)
- ・ポスター選定委員会の開催: 令和2年2月20日
- ・ポスター応募数:一般部門 166件 こども部門 82件 総数 248件

### ②瀬戸内海環境保全への支援

# ア 「里海づくり」支援事業の展開(平成23年度~)

地域住民等に対する瀬戸内海の環境保全意識の啓発、理解及び活動参加の 推進を図るため、会員府県市が実施する人と自然が共生する「里海づくり」 に係る環境学習事業や環境ボランティア人材育成事業に対し、資材(水生生 物下敷、水質パックテスト等)を提供し支援を行った。

支援対象事業 ・自然観察会や子どもたちを対象とした体験的学習

・環境ボランティアの人材育成事業

支援府県市:13府県14市

事業実施期間:令和元年7月1日(月)~令和2年1月31日(金)



夏休みこども体験「海の教室」(大阪府)



くらしき市民講座「海辺教室」(倉敷市)

#### イ 環境保全事業への支援(昭和52年度~)

環境衛生団体や漁業団体が取り組んでいる浜辺の清掃や環境美化等、各種環境保全・創造活動事業に対し、その活動費用の一部を助成した。

助成団体数:5環境衛生団体、8漁業団体

事業実施期間:平成31年4月1日(月)~令和2年3月31日(火)

### ③環境保全研修の実施

## ア 瀬戸内海環境保全トレーニングプログラム研修の実施(平成10年度~)

瀬戸内海を豊かで美しい海にするためには、様々な環境技術の継承や知識が求められており、新たに水環境保全業務に従事する職員を対象に、瀬戸内法や環境技術等、瀬戸内海の新たな取り組みについて、研修を行った。

・日時:令和元年9月18日(水)~20日(金)

・場所:香川県 高松センタービル、直島町役場

·参加人数:28名(12府県15市1団体)

・講義:瀬戸内海の海洋環境総論

講師 広島大学 名誉教授 松田 治 瀬戸内海の環境保全の動向

講師 環境省水・大気環境局閉鎖性海域対策室 瀬戸内海の栄養塩異変の現状理解〜栄養塩管理とその 将来に向けて〜|

講師 香川大学 教授 多田 邦尚 かがわの里海づくり

講師 香川県環境管理課里海グループ 瀬戸内海の海ごみの現況と対応について 講師 鹿児島大学 藤枝 繁

・現地研修(講義と視察)

講義「直島町の地域活性化の取り組み」 講師 直島町長 小林眞一 視察「直島町 家プロジェクト」

・ 班別計議及び全体計議







現地研修:直島町 家プロジェクト

### イ 瀬戸内海の環境保全に関する各団体合同研修会の開催(昭和53年度~)

当協会設立の原動力の一つである環境衛生団体と連携を継続・維持していくため、同団体の合同研修会を共同で開催した。

· 主催: (公社) 瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海環境保全地区組織会議、

(公社) 山口県快適環境づくり連合会

• 後援:山口県、山口県瀬戸内海環境保全協会

・日時:令和元年9月27日(金)

·場所:山口市 YIC Studio

・参加人数:100名

・講演:「瀬戸内海の海ゴミ問題の状況と解決への課題」について

放送大学 岡山学習センター 磯部 作

・体験交流・意見交流:各府県市連合会の実践活動報告

1)山口県 光市浅江地区における環境保全活動 ~みんなの汗で光り 輝く町を~ (浅江地区コミュニティ協議会)

2) 山口県 櫛浜愛山会の取組(櫛浜愛山会)

3)広島県 砂留文化〈ホタルと花と砂留と〉 (堂々川ホタル同好会)

4) 北九州市 水と緑の美化プロジェクト ~源流から干潟までの環境

保全活動~ (東朽網校区環境衛生協会)







体験交流・意見交流

#### ウ 瀬戸内海の環境保全に関する賛助会員等研修会の開催(平成6年度~)

当協会の賛助会員であり、ともに瀬戸内海の環境保全に取り組んでいる企業間のネットワークづくりの場として、企業ニーズを踏まえながら研修会を実施した。

研修内容は、前回の研修会参加者へのアンケート結果を踏まえ、賛助会員 部会で検討を行い決定した。

1) 第1回研修会(見学)

・日時:令和元年11月6日(水)

・講義・見学:① ㈱日本海水 赤穂工場 (兵庫県赤穂市)

② 住友大阪セメント㈱ 赤穂工場 (兵庫県赤穂市)

•参加人数:31名



日本海水㈱赤穂工場



住友大阪セメント㈱赤穂工場

2) 第2回研修会(座学、公開講座)

テーマ:海洋プラスチックごみ問題の現状と研究の最前線

・日時:令和元年12月10日(火)

・場所:三宮研修センター(神戸市中央区)

・講演:「海洋プラスチックごみの特質、瀬戸内海における海洋プラスチックごみの現状と対策」

講師 鹿児島大学 産学・地域共創センター 特任教授 藤枝繁

「マイクロプラスチックの観測技術、分布状況、流動モデル、 将来予測について」

講師 九州大学 応用力学研究所 教授 磯辺篤彦 「マイクロプラスチックと微量有機化学物質との関係及び生物への曝露影響」

講師 京都大学大学院 地球環境学堂 准教授 田中周平

·参加人数:135名



講演の状況



趣旨説明 多田 邦尚 香川大学農学部教授

## エ 特別講演会の開催

令和元年度定時総会の終了後、同じ会場で特別講演会を開催した。

· 日時: 令和元年5月24日(金) 15:30~17:00

・場所:ラッセホール

・テーマ:瀬戸内海の環境と低次生産の変遷と空間的な分布

・講師:広島大学環境安全センター長、教授 西嶋 渉

·参加人数:104名

## ④環境保全事業への参加・協力

## ア 環境イベントへの参加・協力

他団体が主催する環境イベントにおいてパネル (里海・海ごみ啓発パネル等)の展示、資料、啓発物品の配布等を行い、瀬戸内海の環境保全の普及・広報に努めた。

・ひょうごエコフェスティバル2019 (令和元年10月26日(土)~27日(日) 県立三木総合防災公園(兵庫県三木市)に出展し、環境クイズ等による 広報活動を行った。

# イ 会員等主催事業への支援

会員及び関係機関が主催する各種環境保全事業へのパネルの貸出などの支援を行った。

貸出実績: 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議

令和元年度瀬戸内海研究フォーラム in 広島

令和元年9月5日(木)~6日(金)

#### ウ 環境NGO・NPOとの連携・支援

瀬戸内海の環境保全等に努める環境NGO・NPOとの連携や支援を行った。

- ・3海峡(鳴門、紀淡、明石海峡)クリーンアップ大作戦の後援 (令和元年10月26日)
- ・ひかりエコメイト(島田川の豊かな流域づくり連絡会議:山口県)への 海ごみ啓発パネルの電子データの提供(イベント展示が目的)

## ⑤海文化事業の推進(平成24年度~)

瀬戸内海が持つ自然や歴史、食文化等多様な地域資源を背景に、瀬戸内海で結ばれている地域住民の生活・文化の交流を通じて、環境保全への一層の意識醸成を図り、「豊かで美しい瀬戸内海」を実現するため、海文化委員会を開催し、鷲尾圭司氏(水産大学校代表)など有識者の意見を聞きながら検討を進めた。

令和元年度は、「瀬戸内の海・浜辺と保全の取り組み」についてまとめ、250 部発行し、「瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み」について検討を進めた。



「瀬戸内の海・浜辺 と保全の取り組み」

## ⑥瀬戸内海環境保全に関する関係府県市・団体との連携

# ア 瀬戸内海再生に向けた取組みの推進

瀬戸内海の生物多様性の確保、水産資源の回復、美しい自然とふれあう機会の提供等、豊かで美しい瀬戸内海を取り戻すための施策が総合的、計画的に推進されるよう、平成16年から瀬戸内海環境保全知事・市長会議等と連携して、種々の取組みを進めている。

## イ 国に対する提案(昭和52年度~)

栄養塩の適正管理や藻場、干潟の保全等、単独の府県だけでは取り組めない瀬戸内海の広域的な課題の解決に向けた調査・研究に取り組むため、国に提案を行った。

- ・提案日:令和元年6月26日(水)~7月4日(木)
- ・提案先:環境省(24人)、水産庁(12人)、財務省(21人)、国土交通省(28人) 計85人

#### (提案事項)

#### 施策の推進

- (1)瀬戸内海の環境保全・再生・創出のための普及活動、環境教育・環境学習事業及び参加型環境保全活動事業並びに新たな視点での水環境を基調とした海文化を通じた環境啓発事業の推進
- (2)瀬戸内海の自然景観と文化的景観の保全と再生に向けた取組(自然、文化、 歴史等の既存の情報収集とその広報活動を含む)
- (3)地域で活動している NPO 団体との連携による地域づくり活動の実施体制 の構築(指導者やボランティアの育成)
- (4)漁業が持続可能な豊かな海づくりのための適切な栄養塩類濃度レベルの維持及び円滑な物質循環の確保に向けた湾・灘ごと等の地域の実情に応じたきめ細やかな水質管理や順応的な取組の推進方策、評価手法の具体化及び財政支援
- (5)藻場、干潟等の浅場の整備、環境配慮型護岸の整備、底質の改善、赤潮防止

対策の推進、海ごみ(漂着、漂流及び海底ごみ)対策の推進など海域の環境 の保全・再生及び創出

- (6)瀬戸内海特有の景観を活用し、エコツーリズム推進法に基づいたエコツーリズムを行うことにより、島しょ部等地域が持つ特有の魅力の再評価及び地域の活性化を図る事業の推進方策、評価手法の具体化及び財政支援
- (7)水質浄化・物質循環に寄与する二枚貝等を捕食する有害生物対策の推進

### ・調査研究

- (8)瀬戸内海の環境データの収集とデータベース機能の充実(特に生物、藻場、干潟等の自然環境情報)及び瀬戸内海環境情報基本調査の継続実施
- (9)瀬戸内海の沿岸域での良好な環境の保全、失われた環境の修復・創造に関する調査研究
- (10)藻場・干潟の機能と造成効果に関する調査研究
- (11)栄養塩類の働きを踏まえた高次生態系モデルの構築に関する調査研究
- (12)施肥による栄養塩類供給が海藻や貝類等の生物の成長等に与える影響に関する調査研究
- (13)瀬戸内海研究会議の調査研究及び普及・教育活動に対する支援

## ウ 賛助会員の加入促進

協会の目的に賛同する企業等の賛助会員加入の促進を図るため、研修会の 充実やセミナー等での広報に努めた。

#### エ 瀬戸内海研究会議に対する支援・協力

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議(平成25年4月1日設立)の事務局を担うとともに、研究会議が行う事業の運営推進について支援・協力を行った。

- ・瀬戸内海研究フォーラム in 広島(令和元年9月5日(木)~6日(金)) への後援、開催協力
- ・瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ (令和元年12月10日(火)) の共催、開催協力

## オ 国際的な活動への協力

(公財)国際エメックスセンターが行う国際的な行事について協力を行っ た。

・エメックス国際セミナー(令和元年7月17日(水))への後援

## (2)情報共有・発信事業

瀬戸内海の環境保全にかかる現状や、瀬戸内海のあり方、行政施策に関する情報を収集し、今後の施策や事業の連携、協調を図るため、府県市、漁業団体、環境衛生団体等の会員をはじめ、関係する市民等に広く情報を発信し共有した。

①総合誌「瀬戸内海」の発行・配布(平成6年度~)

瀬戸内海の自然・社会・人文科学の総合誌「瀬戸内海」を発行・配布するとと もに協会ホームページに会員限定で掲載した。

· 発行回数:年2回

第78号: 令和元年10月発行 350部

特集 瀬戸内海の藻場・干潟

第79号:令和2年3月発行 350部

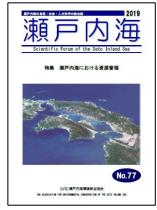
特集 気候変動適応法の策定

- 瀬戸内海における課題と取り組み -

·無償配布:会員団体(冊子)

• 有償配布:年間購読者等(冊子)

年間購読料 2,500円(税込み)



「瀬戸内海」第77号

# ②資料集「瀬戸内海の環境保全ー令和元年度版ー」の作成(昭和53年度~)

瀬戸内海に関連する各種資料をとりまとめ、資料集「瀬戸内海の環境保全ー令和元年度版ー」を作成しホームページに掲載した。(1年間は会員のみにアクセスを限定)。

# ③協会ホームページによる情報の発信(平成10年度~)

瀬戸内海の環境保全に関する環境学習情報等を広く一般の方も容易に入手できるとともに、環境保全に取り組むNPOのネットワーク化にも役立つよう情報を発信した。

#### ④メールマガジンによる情報の発信(平成23年度~)

会員府県市、漁業団体、環境衛生団体及び協会が有するトピックスを収集し、情報共有や施策立案等だけでなく、会員を通じた普及啓発に資する情報発信を行った。

# 2 瀬戸内海の環境保全・創造に関する調査・研究事業

#### (1)調査・研究事業

豊かで美しい瀬戸内海実現に資する調査・研究事業について、環境省等からの受託など外部資金の獲得を目指し活動を行い、次の事業を受託した。

# ① 令和元年度瀬戸内海における豊かな海の確保に向けた方策検討業務 (平成27年度~ 環境省委託、いであ㈱と共同受託)

瀬戸内海をはじめとする閉鎖性海域では、水質汚濁防止法や瀬戸内海環境保全特別措置法による汚濁負荷量の削減等の取組が進められた結果、その水質は全体として改善傾向にある。一方で、赤潮や貧酸素水塊の発生といった問題も依然として確認されており、また、「豊かな海」の観点から、生物多様性・生物生産性の確保等の新たな課題への対応が求められている。

そのため、閉鎖性海域をめぐる新たな課題に対応するため、下記の項目を調査、検討

した。

#### <調査検討項目>

- 1) 湾・灘ごとの水環境の特徴に係る考察及び総合的な評価
- 2) 湾・灘ごとの主な課題の整理
- 3) きれいで豊かな海の確保に向けた取組に係る分析

本業務においては下記の委員で構成される有識者検討会が設置されている。 (委員長 広島大学教授 西嶋 渉、委員 学識者7名、関係機関14名)

- 第1回有識者検討会(令和元年10月10日(木) 新大阪丸ビル別館)
  - ①本年度の検討の進め方(委員長に西嶋 渉広島大学教授を選任)、②湾灘ごとの水環境の特徴に係る考察等について、③きれいで豊かな海の確保に向けた取り組みに係る分析について、④湾灘ごとの課題の整理状況について審議いただいた。
- 第2回有識者検討会(令和元年12月6日(金) CIVI研修センター新大阪東) ①湾灘ごとの水環境の特徴に係る考察等について、②きれいで豊かな海の確保 に向けた取組に係る分析について、③湾・灘ごとの課題の整理について 審議 いただいた。
- 第3回有識者検討会(令和2年2月19日(水) 田中田村町ビル(東京))
  - ①湾灘ごとの水環境の特徴に係る考察等について、②きれいで豊かな海の確保に向けた取組に係る分析について、③湾・灘ごとの課題の整理について、
  - ④令和元年度瀬戸内海における豊かな海の確保に向けた方策検討業務報告書(案)について 審議いただいた。

#### ②令和元年度瀬戸内海栄養塩管理の推進にかかる調査業務

#### (令和元年度 兵庫県委託)

瀬戸内海の栄養塩類濃度は大幅に低下し、生態系維持水質の確保が難しい状況となっていることから、陸域からの栄養塩供給を増やし、豊かで美しい瀬戸内海を再生することを目的に、次の業務を受託した。

(1) 下水処理場からの栄養塩の適切な供給に向けた BOD 上乗せ排水基準 (県条例) 見直しのための調査・解析

兵庫県では、播磨灘流域別下水道整備総合計画に、豊かで美しい海の実現に向け、 下水処理場からの放流水について、栄養塩類である T-N 濃度を引き上げる「季節別 の処理水質」を全国で初めて設定し、季節別運転の運用を開始している。

しかし、季節別運転を実施するとBOD濃度が上昇し、上乗せ排水基準(県条例) を超過し季節別運転に支障が生じるおそれがある。そのため、BOD等上乗せ排水 基準(県条例)を見直しするにあたり調査・解析を行った。

(2) 栄養塩類の供給及び拡散放流に係る工場・事業場向けガイドラインの作成

これまで工場・事業場に対し発生負荷量の削減指導を行ってきた結果、瀬戸内海の栄養塩類濃度が大幅に低下した。

兵庫県は豊かで美しい瀬戸内海を目指し栄養塩類濃度の下限値を設定しているが、下限値達成には下水処理場に加え、民間の工場・事業場での季節別運

転実施が必要である。そのため、県が季節別運転による栄養塩供給増を推進していることを周知するとともに、工場・事業場での季節別運転実施の参考となるようガイドライン(ナレッジ集)を作成した。

# Ⅱ 一般事項

### 1 会議等の開催

#### (1)総会

- ①定時総会(令和元年5月24日(金) ラッセホール)
  - ・平成30年度事業報告及び決算
  - 会費の額
  - ・国に対する提案
  - ・令和元年度事業計画及び収支予算

### (2) 理事会

総会付議事項及び業務の執行に関する事項を協議した。

- ①第14回理事会(令和元年5月9日(木) 神戸市勤労会館)
  - ・正会員の入会承認 (寝屋川市)
  - ・専門委員の委嘱
  - 定時総会付議事項

#### ②第15回理事会

令和2年3月26日(木)に開催予定であったが、新型コロナウィルス感染症の影響に鑑み、開催を中止し、書面評決で実施。

- · 令和元年度事業実施状況
- ・令和2年度事業計画案及び収支予算案

#### (3) 専門委員会等

①企画委員会

第1回企画委員会(令和元年10月23日(水) 兵庫県民会館)

- · 令和元年度事業実施状況
- 令和2年度事業計画案(素案)
- 国提案事項など

第2回企画委員会(令和2年2月25日(火) 神戸国際会館セミナーハウス)

- ・ 令和元年度事業の実施状況
- ・令和2年度事業計画案及び収支予算書案
- ・国提案事項など

## ②編集委員会

協会が発行する「瀬戸内海」の編集方針を定めるとともに、特集テーマや掲

載内容及び執筆者等の検討を行う。

第1回編集委員会(令和元年10月15日(火) 神戸市勤労会館)

- ・「瀬戸内海」78号の編集状況について
- ・「瀬戸内海」79号の原稿収集について
- ・「瀬戸内海」79号、80号の特集について

## 第2回編集委員会

令和2年3月5日(木)に開催予定であったが、新型コロナウィルス感染症の影響に鑑み、開催を中止。

## ③海文化委員会

海文化事業の推進を図るため、情報の活用方策の検討を行う。

第1回海文化委員会(令和元年7月25日(木) 神戸市勤労会館)

- ・「瀬戸内における水環境を基調とする海文化(瀬戸内の海・浜辺と保全の取り組み)」の再編集結果について
- ・令和元年度「瀬戸内における水環境を基調とする海文化(瀬戸内の日々の生活に根ざした身近な景観と保全の取り組み)」の編集方針・情報提供依頼(案)について

## ④ 賛助会員部会

協会活動に対する賛助会員の積極的な参画と賛助会員に係る事業の検討・企画を行った。

令和元年度賛助会員部会(令和元年8月27日(火) 神戸市勤労会館)

・平成元年度替助会員に関する事業等について

#### (4) 参事・事務局長並びに担当課長会議

令和2年3月19日(木)に開催予定であったが、新型コロナウィルス感染症の影響に鑑み、開催を中止。

#### 2 専門委員の委嘱

企画委員、編集委員、海文化委員、賛助会員部会委員を委嘱した。

#### (1)企画委員(13名)

堀川 浩 大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課長

上西琴子 兵庫県農政環境部環境管理局水大気課長

河村敏成 広島県環境県民局環境保全課長

小蓑雅也 香川県環境森林部環境管理課長

芦刈光日出 大分県生活環境部参事監兼生活環境部環境保全課長

清水 浩 大阪市環境局環境管理部土壤水質担当課長

植木啓次 神戸市環境局環境保全部水・土壌環境担当課長

岩井直人 八尾市経済環境部環境保全課長

若杉明弘 大分市環境部環境対策課長

渡辺英典 山口県漁業協同組合指導部長

岩森雅章 愛媛県漁業協同組合連合会参事

上田康二 (一財) 広島県環境保健協会地域活動支援センター長

平川雅昭 (公社)山口県快適環境づくり連合会事務局長

## (2) 編集委員(10名)

井上尚和 (株)神戸製鋼所本社環境防災部担当部長

小養雅也

香川県環境森林部環境管理課長

濵名功太郎 環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室室長補佐

佐山 浩 関西学院大学総合政策学部教授

上西琴子 兵庫県農政環境部環境管理局水大気課長(知事・市長会議事務局)

反田 實 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター技術参与

仲西 健 (一財) 広島県環境保健協会地域支援課長

藤原建紀 京都大学名誉教授

松村保孝 関西電力㈱火力事業本部火力運営部門発電グループチーフマネージャー

鷲尾圭司 (国研)水産研究・教育機構 理事(水産大学校代表)

#### (3) 海文化委員(10名)

五十嵐正和 京都府環境部環境管理課長

上西琴子 兵庫県農政環境部環境管理局水大気課長

中谷茂正 和歌山県環境生活部環境政策局環境管理課長

白髮輝夫 岡山県環境文化部環境管理課長

河村敏成 広島県環境県民局環境保全課長

小養雅也
香川県環境森林部環境管理課長

古川宏史 愛媛県県民環境部環境局環境政策課長

佐藤泰弘 兵庫県漁業協同組合連合会指導部指導担当課長

渡辺英典 山口県漁業協同組合指導部長

上田康二 (一財) 広島県環境保健協会地域活動支援センター長

#### (4) 替助会員部会委員(8名)

松村保孝 関西電力㈱火力事業本部火力運営部門発電グループチーフマネージャー

小西達也 川崎重工業㈱地球環境部環境管理課課長

井上尚和 ㈱神戸製鋼所環境防災部担当部長

前谷徹也 マツダ㈱プラント技術部環境・エネルギー技術グループマネージャー

環彰
四国電力㈱立地環境部環境グループグループリーダー

泉 伸司 いであ㈱大阪支社執行役員

安芸晋治 大塚製薬㈱徳島本部環境課課長

吉田智則 山口県瀬戸内海環境保全協会

(㈱トクヤマ 徳山製造所環境安全部環境管理課長)